



青少年育成のつどい
(中央公民館)



正副議長改選、委員選任後の議員
(庁舎玄関)



現地確認(大谷公園)

目次

令和7年第3回定例会	2	議会レポート	7
委員会構成及び		審議結果一覧	9
令和6年度決算認定	3	一般質問	10
総務委員会審査	4	お知らせ	13
議案ピックアップ	6	編集後記	14

第3回定例会

9月定例会
会議日程
9月9日～19日



PICK
UP1

一般会計予算9千486万6千円を増額補正 全6会計の決算を認定など

令和7年第3回定例会を、9月9日から19日までの会期で開催しました。承認案件1件、人事案件1件、条例案件7件、令和7年度各会計の補正予算案件、令和6年度決算認定案件などを可決・認定しました。

PICK
UP2

定例会初日に、正副議長の選挙と各委員会の 委員選任を行い、議会の構成を改めました。

(委員会構成は3ページに掲載)

議長・副議長就任の挨拶



議長

さ え き ゆうこう
佐伯 雄幸 議長

議員期数：5期目

この度、議長に就任いたしました佐伯雄幸です。歴史と自然に育まれた川辺町のさらなる発展と、町民の皆さまの暮らしの充実に向けて、全力で取り組んでまいり所存です。町民の皆さまのご意見やご要望に真摯に向き合い、健全な町政の推進に貢献できる議会としての役割を果たしてまいります。今後も、議会・行政・町民の皆さまとの信頼関係をいっそう深め、開かれた議会づくりに努めてまいりますので、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



副議長

いしはら としはる
石原 利春 副議長

議員期数：2期目

この度、副議長に就任いたしました石原利春です。身に余る光栄であると同時に、その責任の重さに身の引き締まる思いです。議長をしっかりと補佐し、円滑な議会運営に努めるとともに、川辺町のさらなる発展と住みよいまちづくりのため、誠心誠意取り組んでまいります。町民の皆さまのご理解とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

委員会の構成

総務委員会

委員長 櫻井 芳男
副委員長 奥田 哲也
委員 井戸 三兼
平岡 正男
桜井 真茂
佐伯 雄幸
巖 敬一郎
市原 敬夫
石原 利春

議会運営委員会

委員長 平岡 正男
副委員長 巖 敬一郎
委員 市原 敬夫
櫻井 芳男

議会報編集委員会

委員長 奥田 哲也
副委員長 巖 敬一郎
委員 平岡 正男

種類(委員数)	主な役割
総務委員会(全議員)	条例、予算等の議案、請願の審査等
議会運営委員会(議員4名)	会期、議事日程、議会運営の調整等
議会報編集委員会(議員3名)	議会だよりの編集、発行等



歳出総額91億2千万円 令和6年度決算を認定



令和6年度の一般会計・各特別会計の決算は総務委員会に付託し、審査しました。
審査した会計は、一般会計を含め6会計で、町長をはじめ担当課長等の出席を求め、説明・質疑応答を行い、必要書類などの提出を求めました。
9月12日には、討論・採決を行い、審査に付託された全ての会計決算について、全会一致で認定すべきものと決定しました。

令和6年度各会計決算 (千円以下四捨五入)

一般会計		国民健康保険事業	
歳入	57億4,105万円	歳入	10億822万円
歳出	54億3,537万円	歳出	9億8,664万円
後期高齢者医療		介護保険	
歳入	1億9,711万円	歳入	10億851万円
歳出	1億9,138万円	歳出	9億8,600万円
水道事業			
収益的収支	歳入	2億8,528万円	
	歳出	2億8,623万円	
資本的収支	歳入	2億6,438万円	
	歳出	2億8,801万円	
下水道事業			
収益的収支	歳入	4億5,793万円	
	歳出	4億4,856万円	
資本的収支	歳入	3億2,302万円	
	歳出	5億845万円	
※水道事業、下水道事業共に資本的収支の不足額は、内部留保資金及び当該年度分消費税資本的収支調整額で補てんしました。			



総務委員会審査

9月定例会に上程した22件の議案は総務委員会に付託し、9月9日から4日間の日程で審査しました。

委員会に付託した議案について、各課から説明を受け、質疑応答・必要書類の提出を求め審査を進めました。審査に当たっては、延べ59件余りの質疑応答が行われ、9月12日に討論・採決をした結果、全ての議案について、全会一致で可決及び承認すべきものと決定しました。審査における質疑応答の主なものは次のとおりです。

岐阜県市町村会館組合規約の変更に関する協議等

Q 岐阜県市町村会館組合の解散に伴う本町への返還金はいくらくらいになるのか？

A 現時点でわかる範囲では返還額約5億7,000万円（ふれあい会館入居基金）は組合から町村会への返還になるもので、市町村に返還されるものではない。一方で約5,200万円（財政調整積立金）は、負担金の納付割合に応じて返還額が計算される見込みである。

Q 岐阜県市町村会館組合は解散し、退職手当組合はそのまま残るといふことか？

A そのとおり。岐阜県市町村会館組合の4人の職員については、退職手当組合へ転籍することになる。

Q 本町からの経費負担はどの程度あったのか？

A 岐阜県市町村会館組合への負担金は軽自動車に関する事務の応分負担として年間5万円程度である。

地方公務員の育児休業等に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例

Q 育児休業の該当職員の数はいくつ？

A 常勤職員112人だが、実際に該当職員は全員が取得するわけではない。



令和7年度川辺町一般会計補正予算（第3号）

Q 防災行政無線への落雷による修繕予算66万円は何か？一般的に落雷であれば火災保険の対象になると思うが？

A 庁舎の設備（無線設備の分配機器）が落雷の影響で故障したため修繕をするものだが今回の事案は火災保険の対象外である。

Q J・A・L・E・R・T（全国瞬時警報システム）の機器をわずから5年で更新するのか？

A 国の施策で全国の自治体が設置しているもので、国からの通知で更新を行うもの。

Q J・A・L・E・R・Tの更新に伴う財源としての緊急防災・減災事業債は令和8年度以降も延長（対象）となるのか？

A 8年度以降も延長になるかは未定であり、地方財政措置がある令和7年度中に更新するため、補正予算をお願いするもの。

Q 小中学校の体育館への空調設置は？

A 体育館は避難所という位置付けもあるため、設置の方向で検討したい。



令和6年度決算認定について

Q 水道料金の回収率が徐々に低下している要因は？

A 人口減少などにより給水収益が毎年200万円程度減少している状況が続いている。一方で、水道管の老朽化で漏水事故が散見しているため、収益が減り、経費が増えていく状況になっている。今後もこの状況は続くことが見込まれる。

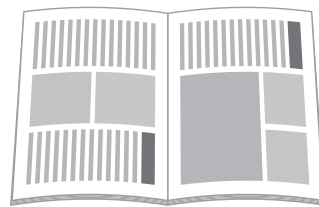
Q 厳しい収支状況であるため、今後の水道料金の値上げは？

A いずれは水道料金の改定が必要となるが、現時点では改定時期は未定である。



Q 広報かわべ(3,500部)を印刷し配付しているが、配付余りの部数はどの程度か？残数がある場合は、印刷部数の見直しなどを検討してはどうか？

A 広報かわべは、町内の店舗、コンビニなどにも置いており、残数は200部程度である。すぐメールやHPでも広報かわべは閲覧できるが、紙の広報を希望する方も一定数ある。



Q 高齢者に関する相談内容はどういったものがあるか？

A 保健センターでは電話による健康相談がある。また、健康診査の結果説明会で相談を受ける場合もある。また包括支援センターでは総合相談事業として、介護認定やサービス利用に関する相談、高齢者福祉全般に関する相談を受けている。

Q 下水道管からの漏水による道路陥没事故に関して、国から市町村への通達などは？

A 国からの通達では、直径2メートル以上の下水道管が点検対象で、本町には該当するものはない。

Q 中学校の部活動の移行(学校から地域・民間へ)は滞りなくできているか？

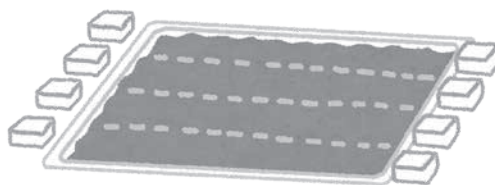
A 既存の部活動(休日のみ)は全て令和7年度から川辺スポーツクラブへ移行している。例外的に美術部は移行できていない。また、バスケットボールはスポーツ少年団の活動となっている。



Q B&Gのプール開放日は(6月～9月)ですが、非常に暑い時期なので、土日祝日の開放を検討されてはどうか？

A 開放期間は、町条例に基づく期間となっている。平日昼間は利用者が少ない一方で夜間は利用者が増える状況である。

プールの水温が温水プール並みに高く、水温を下げることに限界を感じているため、利用者の増が見込めない。



Q 議会一般質問の様子をユーチューブで閲覧できるようにしているが、町のホームページ(議会事務局)を介さずにダイレクトにユーチューブで閲覧できないか？

A 著作権や技術的なことを調査確認のうえ、検討する。

議案ピックアップ

定例会で審議した案件の中から、人事案件1件、条例案件5件、各会計補正予算をピックアップして詳しく説明します。



PICK UP1 人事案件

教育委員会委員

現教育委員会委員 おおわきかおみ 大脇香美氏の任期が令和7年9月30日で満了となるため、同氏を引き続き教育委員会委員として再任することに全会一致で同意しました。

任期: 令和7年10月1日から令和11年9月30日(4年)

PICK UP2 条例案件

川辺町副町長定数条例の制定

地方自治法第161条第2項の規定に基づき、副町長の定数を1人と定め、併せて「副町長を置かないことの条例」を廃止するもの。

地方公務員の育児休業等に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例

地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正に伴い、部分休業制度の改正等を行うもの。

- ① 1年につき条例で定める時間を超えない範囲で1日の勤務時間の全部又は一部について勤務しないことが選択可能となる。
- ② 非常勤職員の部分休業の対象となる子の年齢を小学校就学の始期に達するまでに引き上げる。



川辺町水道事業給水条例の一部を改正する条例

国からの通知「災害その他非常の場合における給水装置工事の施行について」により、町条例で規定する指定給水装置工事事業者の要件について、災害時等における特例を設けるもの。

川辺町下水道条例の一部を改正する条例

国からの通知「標準下水道条例の改正について」により、町条例で規定する排水設備指定工事店の要件について、災害時等における特例を設けるもの。

川辺町非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

社会教育法第9条第7項に基づく「地域学校協働活動推進員」の報酬額を追加するもの。

PICK UP3 各会計補正予算



一般会計では、追加の財政需要に対する予算の補正が行われました。

一般会計補正予算(第3号)の内容 令和7年度一般会計(5,437万3千円)

◆歳入

- ・物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金(597万8千円)
- ・公立学校情報機器整備費補助金(320万円)
- ・普通財産売払収入(504万3千円)
- ・教育費寄附金(625万円)
- ・介護保険特別会計繰入金(558万円)
- ・財政調整基金繰入金(▲193万9千円)
- ・後期高齢者医療療養給付費負担金過年度精算金(1,491万5千円)
- ・地方債: J-ALERT受信機更新事業(250万円)
- ・地方債: 道路舗装維持補修事業(1,400万円)
- など

◆歳出

- ・福祉医療費助成事業県補助金過年度精算分償還金(1,120万8千円)
- ・障害者医療費等過年度精算分償還金(558万9千円)
- ・公園施設修繕工事等(360万6千円)
- ・町道維持工事(1,400万円)
- ・J-ALERT受信機更新工事(256万8千円)
- ・水道事業会計補助金(819万1千円)
- ・学校ICT支援等業務委託料(481万9千円)
- など

その他特別会計等補正状況

会 計 名		補 正 額	会 計 名		補 正 額
国民健康保険事業		1,544万8千円	後期高齢者医療		848万4千円
水道事業	(収益の収入) 給水収益 ▲819万1千円 一般会計補助金 819万1千円		介護保険		4,428万8千円
			下水道事業	(収益の収入)	▲290万5千円
				(収益の支出)	▲290万5千円
				(資本の収入) 一般会計補助金 100万円	

議会レポート

8/
7木

可茂町村議会議員 研修会・情報交換会

シティホテル美濃加茂で、管内の町村議会議員関係者80名余りが集まり研修会・情報交換会が開催されました。本町からは議員全員が参加しました。研修会では講師(日本総合研究所主席研究員: 藻谷浩介さん)から「人口減少に直面する町村における魅力あるまちづくり」について講演していただき、可茂管内の町村と首都圏の自治体や諸外国との人口比較の見方・考え方、高齢化の推移などを学びました。客観的数値に基づいた分析に参加者は「なるほど! そういった考え方があるのか」「数値の見方の認識が変わった」などの声が聞かれました。



9/
27日

全国ボート場所在市町村協議会(議長懇話会)

兵庫県豊岡市でボート場所在市町村の議長が集まる議長懇話会が開催され、当町の佐伯雄幸議長が参加しました。懇話会では、各市町村のPR(観光、特産品の紹介等)、ボート競技によるまちの活性化などが話し合われました。

9/
27日
28日

全国市町村交流レガッタ豊岡大会

兵庫県豊岡市で開催された交流レガッタ(113クルー参加)に川辺町の4クルーが参加しました。2日間にわたり熱戦が繰り広げられ、佐伯議長も声援を送りました。結果は160歳未満男子の部に出漕したRow out by C.Tが準優勝になりました。

次年度は、福島県喜多方市で開催が予定されています。



令和6年度決算認定等(現地確認)

令和6年度各会計の決算認定等に関する各種事業の進捗状況等を確認するため、現地で担当課長から説明を受けました。

中川辺駅西地区



中川辺駅西地区における道路改良事業の進捗状況や今後の予定などの説明を受けました。

美濃川辺線



岐阜県が実施している主要地方道美濃川辺線(鹿塩地内)の進捗状況や、道路拡幅に伴う大谷公園敷地(町有地)の買収箇所を確認しました。

こんなことが決まりました。

令和7年第3回定例会審議結果

件 名	採決状況 (賛成：反対)	結果
令和6年度決算に係る健全化判断比率について	報告のみ	
令和6年度決算に係る資金不足比率について	報告のみ	
専決処分について承認を求める件 《令和7年度川辺町一般会計補正予算(専決第1号)》	賛成 8：反対 0	承認
川辺町教育委員会委員の任命につき同意を求める件	賛成 8：反対 0	同意
岐阜県市町村会館組合規約の変更に関する協議について	賛成 8：反対 0	可決
岐阜県市町村会館組合の解散及び財産処分並びに事務の承継等に関する協議について	賛成 8：反対 0	可決
岐阜県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び岐阜県市町村職員退職手当組合規約の変更に関する協議について	賛成 8：反対 0	可決
川辺町副町長定数条例の制定	賛成 8：反対 0	可決
地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	賛成 8：反対 0	可決
地方公務員の育児休業等に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	賛成 8：反対 0	可決
川辺町移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	賛成 8：反対 0	可決
川辺町水道事業給水条例の一部を改正する条例	賛成 8：反対 0	可決
川辺町下水道条例の一部を改正する条例	賛成 8：反対 0	可決
川辺町非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	賛成 8：反対 0	可決
令和7年度川辺町一般会計補正予算(第3号)	賛成 8：反対 0	可決
令和7年度川辺町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	賛成 8：反対 0	可決
令和7年度川辺町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	賛成 8：反対 0	可決
令和7年度川辺町介護保険特別会計補正予算(第2号)	賛成 8：反対 0	可決
令和7年度川辺町水道事業会計補正予算(第2号)	賛成 8：反対 0	可決
令和7年度川辺町下水道事業会計補正予算(第2号)	賛成 8：反対 0	可決
令和6年度川辺町一般会計歳入歳出決算認定について	賛成 8：反対 0	認定
令和6年度川辺町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	賛成 8：反対 0	認定
令和6年度川辺町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	賛成 8：反対 0	認定
令和6年度川辺町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	賛成 8：反対 0	認定
令和6年度川辺町水道事業会計決算認定について	賛成 8：反対 0	認定
令和6年度川辺町下水道事業会計決算認定について	賛成 8：反対 0	認定

今聞きたいこんなこと

一般質問



①「一般質問」とは？

議員が町の一般事務に対してその執行の状況又は将来の方針、政策的提言や行政の課題などを町長などの執行機関に直接質すことです。

質問事項一覧

※質問順に掲載

質問番号	議員名	内 容
1	井戸 三兼 議員	雇用のある町と農業政策について
2	奥田 哲也 議員	高齢者の方の熱中症対策について
3		自治会加入率低下の歯止め・対策について
4		歳入増・歳出減の施策について
5	石原 利春 議員	主要地方道可児金山線について
6	市原 敬夫 議員	川辺町の将来像について

議会を
動画で見よう

紙面の都合上、一般質問と答弁を要約してあります。インターネットで一般質問の様子をみることができます。



Q

一般質問

1

町 長

井戸三兼 議員

雇用のある町と農業政策について

本町の立地条件を活かし、賑わいのあるまちづくりと地域の農業の発展に努めます

A

「かわべを再起動」を掲げて当選した木下町長に2点について質問します。

①企業誘致政策について

前町長は財政上の理由から企業誘致より宅地化を優先していたが、木下町長のマニフェストでは、地価や交通便利性、災害リスクの低さを活かして「起業支援・企業誘致」を進め、「お店が始めやすいまち」「観光客が来店する仕組み」「雇用のあるまち」を目指すとしています。

これは、商業・サービス業を中心とした企業誘致と雇用確保をしていくという方針ですか。

②農業政策について

宅地化を進めると流入住民との摩擦も懸念され、農業がやりづらくなります。日本の食料自給率や地産地消の観点から、川辺町の農業政策をどう考えていますか。

①町は、商業・サービス業を中心とした企業誘致や出店支援により、雇用確保と町のにぎわい創出を目指す方針で、特に小売・飲食店のスタートアップ支援を強化・充実させ、軽登山ブームなどで来町者を迎え入れて町内消費の活性化を図ります。また、美濃加茂インターからのアクセスの良さや地価の安さ、災害リスクの低さを活かし、幅広い企業の誘致を模索します。

②農業は川辺町にとって生活や景観、コミュニティ維持など多面的に重要な産業であります。無秩序な住宅化による農業への悪影響を懸念し、農地保全や担い手支援、地産地消の推進、住民理解の促進などに取り組んでいます。地産地消は食料自給率向上の土台として重要であり、国の方針とも連携しながら、持続可能な農業を推進していきます。

2 一般質問

奥田哲也
議員

高齢者の方の熱中症対策について

町長

今後も熱中症対策の環境整備を進めます

Q

町長は就任早々の英断により小学校低学年児童の下校時にスクールバスを使うなどの対策を継続して実施しています。熱中症対策は町民の安全を守るために最優先の課題です。今回は特に高齢者への熱中症対策を質問します。

① 小学校低学年児童の下校時における公用車利用の現状、問題点、課題をお聞きます。

② 川辺町に住む75歳以上の高齢者の生活状況(独居か、家族同居かなど)を町はどこまで把握していますか。
③ 高齢者を対象とした具体的な熱中症対策についてお聞きます。

A

① 今年度から小学校1・2年生のうち自宅から学校までの距離が約2.5km以上の児童21名を対象に公用車での下校支援事業を実施しています。現在17名が利用し、保護者からは感謝の声

が寄せられています。今後は対象拡大や継続も検討しますが、教職員の負担増などの課題もあります。

② 令和7年9月時点で65歳以上3,246人、75歳以上1,903人で、全員の個別把握は困難であるため、介護保険事業者や地域包括支援センター、民生委員などが連携して生活状況を把握し、エアコン使用の促進や水分補給の助言などを行っています。

③ 町は「やすらぎの家」をクーリングシェルターに指定し、夏季の避難場所として提供しているほか、不要不急の外出自粛や冷房使用を推奨し、今後は民間店舗にも協力を呼びかけます。今後も情報収集と対策強化に努めます。



3 一般質問

奥田哲也
議員

自治会加入率低下の歯止め・対策について

町長

自治会と町が協力し、地域課題の解決に取り組めます

Q

現在、最も関心を持ち取り組んでいる課題は「自治会の存続」です。昨年の定例会でも取り上げましたが、その後の1年間で自治会加入世帯数は減少し、加入率も66.8%から64.6%(▲2.2%)に下がっています。一方で、世帯数4,060世帯から4,130世帯(+70世帯)に増加しています。この数字をどう評価するかは難しいですが、町長は、選挙時のリーフレットで「自治会の見直し」に触れていますので、お聞きます。

① 自治会に対する認識をお聞きます。

② 現状の評価は。

③ 自治会と町行政の関係をどう考えますか。

④ 具体的な対策案をお持ちですか。



A

① 自治会は地域コミュニティの核として、情報共有や防災、見守り活動など重要な役割を果たしています。

② 少子高齢化や生活様式の変化により加入率は徐々に低下していますが、親子で住民基本台帳上は世帯を分離し、組付き合いは1世帯としている世帯もあり、実際の加入率はもう少し高いと思います。地域活動の担い手が減少する中で多くの自治会が地域の課題解決に取り組む、活動をしておられることに感謝いたします。

③ 自治会は町行政と密接に連携しており、情報伝達や住民要望の取りまとめに重要な役割を担っています。

④ 自治会の負担軽減や資金支援を進め、持続可能な運営を支援していく方針です。今後も自治会と町が協力し、地域課題の解決に取り組んでまいります。

4 一般質問

奥田哲也
議員

歳入増・歳出減の施策について

町長

「コツコツが勝つコツ」
健全な財政運営に努めます

Q

「住みたい町」「住み続けたい町」、そして「人口増加を達成する町」にするためには大きな努力と財源確保が必要です。これには歳入増加、歳出削減、支出の見直しが考えられます。私からの提案に対して町長のお考えをお聞きます。

【歳入増加策】

- ① 公共施設の命名権
ゴミ袋や公用物の広告
- ② ふるさと寄附金、企業版ふるさと納税の推進
- ③ 町有地の有効活用
- ④ 町税制度の周知強化

【歳出削減策】

- ① 委託料等の見直し・削減
- ② 再生可能エネルギー活用の再検討
- ③ 環境に優しいごみ処理啓発
- ④ 健康促進で医療費軽減

一度に大きな成果は難しいですが、「コツコツが勝つコツ」で時間と労力をかけないアイデアは積極的に推し進めるべきだと思います。創意工夫の精神は他の業務にも生きてくると思います。

A

「住みたい町」「住み続けたい町」を目指すためには町民と行政が協力し、創意工夫と地道な努力が必要です。

【歳入増加策への対応】

- ① 公共性や住民感情に配慮しつつ他自治体の事例を参考に検討します。
- ② 制度改正で寄附額が減少。新たな施策で寄附額回復に努めています。また、企業版ふるさと納税は地域活性化に有効で積極的に活用します。
- ③ 地域振興や財源確保のため多角的な視点で検討します。
- ④ 町民に丁寧な周知し、理解と協力を求めます。

【歳出削減策への対応】

- ① 効果や必要性を慎重に精査します。
- ② 環境面や費用対効果を考慮し検討します。
- ③ 分別の徹底と適正な排出の周知に努めます。
- ④ 健康促進で持続可能な財政運営に努めます。

5 一般質問

石原利春
議員

主要地方道可児金山線について

基盤整備課長

早期完成に向け、関係自治体と連携し、県に要望します。

Q

主要地方道可児金山線工事のうち、比久見東タウン前から下吉田川辺大橋までの未完成区間約300mについて、前回は土地改良施設排水路や上下水道管の移設が原因で工事が遅れているとのことでしたが、その後の進捗状況をお聞きます。また、可茂土木事務所の設計変更により、道路の高低差が変わったという情報についてもお聞かせください。

工事の迂回路となつてから3年以上が経過し、通学路かつ交通量が多いため安全面からも早急な工事完成を求めます。基盤整備課長の見解と県への具体的な要請内容についてお聞かせください。

A

主要地方道可児金山線の比久見バイパス事業（約1.6km）は県の事業として実施されています。この地域では通勤車両が多く、近隣には

こども園や小学校があるため、安全で安心な道路の早期完成が求められています。現在、残り約300mの工事が進行中です。過去2年間は上下水道移設工事や道路工事の支障となる河川の付け替え工事が実施されました。今年是一部舗装工事が実施されています。設計変更により工期短縮と費用削減を図っており、完成時期は国庫補助金の影響で明言できませんが、町では早期完成について沿線自治体と連携し、行政懇談会や現場視察を通じて引き続き強く要望してまいります。



6 一般質問

市原敬夫
議員

川辺町の将来像について

町長

利便性を活かしたまちづくり、財源確保、公共施設等の活用などを着実に進めます

Q

令和7年度の町予算(約100億円)で事業がスタートしたものの、財政状況は厳しく、将来につながる投資的支出は少ない状況です。少子高齢化が進み、人口の約3分の1が65歳以上で、ライフラインの改修や小学校統合などの課題も多くありますが、町長のお考えを伺います。

A

①将来像としては、都市近郊の利便性を活かした「住みよいベッドタウン」の発展をまちの東部・南部で目指し、子育て世代の定住促進を図ります。一方、人口が減少傾向にある北部地域は観光資源を活かした商工観光の拠点としての活性化を図ります。地域ごとの特性を活かした魅力ある町づくりを進めます。

②財源確保の観点からは、「広報かわべ」に町内企業のPRや求人広告を掲載し雇用促進を図ること、登山や川を活用した観光振興や特産品販売の強化、花木のオーナー(植樹)など地域活性化につながる「稼ぐ事業」の展開についてお聞かせします。

③例えば将来、仮に小学校が廃校となった場合の空き校舎や町有資産の有効活用、地域振興につながる施設などの誘致など、活用方法について、また6月議会では、町長から積極的にトップセールスをし、企業誘致に努めたいとの発言もありました。具体的にどこに工場を誘致するかという計画があればお聞かせください。

①将来像としては、都市近郊の利便性を活かした「住みよいベッドタウン」の発展をまちの東部・南部で目指し、子育て世代の定住促進を図ります。一方、人口が減少傾向にある北部地域は観光資源を活かした商工観光の拠点としての活性化を図ります。地域ごとの特性を活かした魅力ある町づくりを進めます。

②財源確保では、町が収益を生む事業創出も念頭に、広報誌の企業PR掲載は公平・中立など慎重に対応しつつ、地域の産業紹介などの情報発信を検討します。自然資源を活用した水上アクティビティの導入や特産品の販路拡大、花木のオーナー制度導入なども先進事例を参考にしながら検討し、持続可能な財源確保を目指します。

③公共施設の有効活用では、民間活用や売却、貸付など様々な方法を検討します。企業誘致は、町長自ら積極的に取り組みますが、具体的計画は現在のところありません。



お知らせ

次回 令和7年 第4回定例会の予定

12月3日 定例会(初日)・総務委員会
4日 総務委員会
8日
12日 定例会(最終日)・一般質問

※日程は都合により変更となることがあります。

一般質問の様子をCCネットで放映しています。放送予定日は、定例会最終日翌週の土曜日と日曜日です。



議会日誌 令和7年8月～10月

8月

- 2日 八百津町合併70周年記念式典
- 6日 国道418号整備促進期成同盟会総会
- 7日 可茂町村議会議員研修会・情報交換会
- 15日 戦没者追悼式
- 18日 花火実行委員会
- 19日 指定管理者評価委員会(第3こども園、児童館)
- 21日 市町村議会議員セミナー
- 26日 名濃BP期成同盟会・岐阜県町村議会議長会臨時総会・評議員会
- 27日 議会行政連絡会議
- 28日 〓 広報研修会
- 29日



9月

- 2日 議会運営委員会・社会福祉協議会理事会
- 4日 指定管理者評価委員会(やすらぎの家)
- 6日 川辺おどり花火大会
- 7日 自衛隊音楽まつり
- 8日 敬老会
- 9日 定例会(初日)
- 9日 〓 総務委員会
- 12日
- 13日 青少年育成のつどい
- 16日 新議長・副議長あいさつ回り
- 17日 洞戸・川辺間主要地方道改良整備促進期成同盟会
- 19日 定例会(最終日)
- 27日 〓 全国市町村交流レガッタ豊岡大会
- 28日

10月

- 1日 立志式
- 2日 議会報編集委員会
- 4日 こども園運動会
- 7日 岐阜県町村議会議長会定期総会・正副議長研修会
- 9日 〓 東京要望
- 10日
- 11日 小学校運動会
- 11日 〓 全中新人競漕大会
- 12日
- 14日 議会報編集委員会・県消防操法大会 壮行会
- 18日 全国健康福祉祭
- 19日 KAWABE MOUNTAIN FES FUMOTO
- 21日 議会報編集委員会 環境ポスター審査会
- 26日 県消防操法大会
- 31日 議員研修会

編集後記

9月の定例議会において、1年に一度の議会人事が行われ、「議会報編集委員会」も新たな委員構成で出発しました。

今までの「かわべ議会だより」が決して十分に町民の皆さまの関心を寄せ、広聴機能の役割を果たしてきたとは思っておりません。

川辺町民の皆さまに町政をより身近に感じ、関心を持っていただけるよう、「文は人なり」「ペンは剣よりも強し」の精神で、委員会一同「かわべ議会だより」の編集作業に取り組んでまいります。

ご意見・ご要望お待ちしております。

議会報編集委員会

委員長 奥田 哲也
副委員長 巖 敬一郎
委員 平岡 正男



議会報編集委員会の様子

議会だより・議会全般に対するご意見や感想がございましたら、FAX、メールにてお寄せください。

FAX :0574-53-2374 メールアドレス:gikai@kawabe-gifu.jp